平成25年度子育て支援事業実施状況及び平成26年度における事業推進目標

事業No.79 市民・団体等の主体的な子育て支援事業の把握

団体名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
人あ 形 劇ち	〇市内保育所・集会所・福祉施設で人形劇の上演 〇人形劇フェスタ芦屋を2月1日(土)に美術博物館で開催 〇8月7日・8日に人形劇フェスタ阪神(ピッコロシアター)に出演 〇神戸大学あ一ちで子育て支援活動に従事	〇市内保育所(8月), 地区集会所(9月)で人形劇の上演 〇神戸大学サテライト施設あ一ちで人形劇の上演(1月) 〇8月6日・7日に第21回人形劇フェスタ阪神(ピッコロシアター)に出演 〇人形劇フェスタ芦屋を2月に開催予定(美術博物館)
芦屋いずみ会	 ・おやこのための料理教室 2回 講話と調理実習 ・ビギナーズ料理教室 3回 講話と調理実習 ・朝ごはんを食べようキャンペーン 講話と調理実習以上,朝ごはんのアンケート実施 小学生,幼児と母親と父親参加 ・ティーンズキッチン 芦屋学園の中学生 講話と調理実習 ・あしやの家庭料理「はんぶんこ」 留守家庭預り所において幼児対象に月1回実施 	おやこのための料理教室 2回実施 ビギナーズ料理教室 3回 朝ごはんを食べようキャンペーン 以上は、幼児、小学生とその父兄、一日は父親と子ども対象 ティーンズキッチン(中学生対象) 「はんぶんこ」 月1回実施 ※子ども達に食育の大切さ、朝ごはんの重要性を講話と調理実習を7月と 8月に実施予定 今年は日本型食生活を見直し、行事食、地産地消の食材、伝統を子ども達に伝えていきたいと思います。
グー チョキパー 営屋おもちゃ	〇毎月第1土曜日,第3水曜日におもちゃ図書館を開館し,25年度は延べ 170名 (子どもとその保護者を含む)の利用があった。 〇8月エプロンシアター,2月ボールプール,12月クリスマス会をそれぞれ 開催し,特にクリスマス会では人形劇を実施し,非常に盛況であった。 〇四半期に一度「おもちゃ図書館通信」を発行し,絵本の紹介,布おもちゃの 作り方,折り紙の折り方など,子育て中の保護者に喜ばれる情報を発信した。	○より安全で独創的な子どもの遊びに寄与できるよう新しい手作りおもちゃの研究に努めたい。○通常のおもちゃ図書館に加え、折り紙教室など単発の企画を実施していきたい。○より多くの親子に利用してもらえるよう広報の機会を増やしていきたい。
芦屋市栄養士会	・12月8日(日)年末のつどい ひとり親の料理教室 白菊会との共催 親と子のクリスマス料理を作り、会食をする 食事を作ることによって親と子の会話の場を作る 親9名、子ども9名参加 ・平成26年3月2日(日)親子でお弁当を作ろう 大人11名、子ども14名参加	・年末のつどい ひとり親の料理教室 を予定

団体名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
芦屋市学童保育保護者連絡会	・5月「平成25年度総会」と児童向け「科学実験教室」を実施 ・年6回(偶数月) 定例役員会の開催と『がくほれんニュース』の発行を行い、 芦屋市における学童保育の現状を共有したり、市内全8学級の保護者の交 流を図ることができた。 ・各学級毎の親睦行事の企画運営支援。(学級保護者会主催の親子遠足や、 コミスク祭りへの出店など、好評であった。) ・2月に「芦屋市の学童保育を考える集会」と児童向け「ケーキつくり教室」及び 「保育所保護者向け学童説明会」を企画したが、会場の確保ができず中止し た。	 ・昨年度も実施(企画)した定例事業の充実と円滑な実施を図り、芦屋市での学童保育の推進と学童を必要としている家庭への子育て支援につながるよう努めていきたい。 ・保育所修了児以外の学童入会も増えてきているので、芦屋市保育推進保護者会協議会や留守家庭児童会担当課との連携を図り、市内の全就学前家庭への学童のお知らせや説明会のあり方について検討のうえ実施していきたい。
芦屋市子ども会連絡協議会	(主催)将棋教室,将棋大会,オセロ大会,5・5フェスタ(いろいろな団体と連携) 夏祭り出店,ゲーム研修会など (支援)各単位への支援 用具の貸し出し,指導者研修など <研修・事業> 5月 5日 5・5フェスタ 5月10日 夏キャンプ下見 7月 元気しんぶん(夏号)発行 7月26日 夏のキャンプ申し込み受付 7月25日 将棋教室48名(浜風コミスク共催) 7月29日 将棋教室39名(浜風コミスク共催) 8月10日 夏のキャンプ説明会 8月19~20日 夏のキャンプ 子ども71名 (丹波かどのの郷 神戸市立自然の家 他) 8月31日 オセロ大会 子ども38名 9月15日 阪神ブロックオセロ大会 7名 10月13日 秋まつり子どもみこし 8団体9基 子ども約400名 11月27日 県オセロ大会 1名参加 12月 1日 阪神ブロック研修会 45名 講師 藤原由紀さん 2月 8日 尼崎との交流雪あそび説明会 2月11日 尼崎との変流雪あそび打合せ 2月18日 尼崎との雪あそび打合せ 2月18日 尼崎との雪あそび打合せ 2月18日 尼崎との雪あそび打合せ 2月18日 尼崎との変流雪あそび 子ども23名	昨年度に引き続き活動を予定している。 夏のキャンプは、今年は参加年齢対象を下げ、日帰り里山体験に変更、募集中。各単位子ども会で、地域に根付いたいろいろな活動を実施しているので、市子連は単位ではできないような全市的な事業を企画している。また、単位子ども会が活発に活動できるように、いろいろな面での支援を続ける。

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
芦屋市子ども会連絡協議会	~ 前ページからの続き~ 〈ジュニアリーダー活動〉 5月 5日 5・5フェスタ J・リーダー8名 5月26日 ジュニアリーダー会議 6月 9日 ジュニアリーダー会議 6月 9日 ジュニアリーダー会議 6月 9日 ジュニアリーダー会議 7月 14日 ジュニアリーダー会議 8月 3日 夏祭りゲームの店 8月10日 キャンブ説明会 J・リーダー5名 8月10日 キャンブ記明金 J・リーダー8名 9月22日 ジュニアリーダー会議 10月 7日 秋まつリーダー会議 11月 21日 阪神戸・どもみこし J・リーダー3名 11月 4日 ジュニアリーダー会議 11月 21日 阪神戸・シーダー会議 11月 21日 阪神戸・シーダー会議 11月 21日 阪神戸・シーダー会議 11月 21日 阪神戸・シーダー会会 11月 21日 阪神戸・シーダー3名 2月 8日 尼崎との交流雪あそび説明会 J・リーダー2名 2月 22~23日 尼崎との交流雪あそび J・リーダー2名 〈評議員会 常任理事会 5月25日 第1回評議員会・KYT研修 10月 5日 常任理事会 5月25日 第1日理事会 1月 1日 第2回評議員会・研修会 1月 1日 第3回評議員会・研修会 1月 1日 第1日 第3回評議員会・研修会 1月 1日 第1日 第1日 第3回評議員会 3月 2日 新旧合事会 3月 2日 新田合事会 3月 2日 新田合事会	

団体名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
芦屋市社会福祉協議会	○ファミリー・サポート・センター事業の推進 ・上記事業実施において、協力会員養成講座(2回)、会員交流会(7回)、お役立ち講座(6回)を開催 ・保健福祉フェア開催時、手づくりおもちゃコーナーと会員登録コーナーを実施 ○ボランティアグループによる子育て支援活動の支援 (芦屋おもちゃ図書館グーチョキパー、あしやおもちゃ工場、芦屋ファミリー・ラブ、託児芦っ子) ○共同募金配分金事業の一環として ・地域子ども会へ活動助成 32件、児童・生徒等へのボランティア活動助成 6校、ひとり親家庭ボウリング大会への協賛(芦屋白菊会主催ボウリング大会へ助成金交付) ○各校への資機材貸出、ボランティア講師の紹介 ・車いす貸出 3回、アイマスク貸出 5回、ボランティア講師紹介 19回、点字盤の貸出 3回、アイマスク貸出 5回、高齢者疑似体験セット貸出 2回○心配ごと相談等日談窓口による相談の受付 8件 ○陸がい児日中一時支援事業の実施(登録者数 36人) ・ボランティア講習会 1回7人、サマー学生ボランティア 12人	○ファミリー・サポート・センター事業,障がい児日中一時支援事業を継続して実施 ○赤い羽根共同募金配分金などを財源として,ボランティアグループ活動や児童生徒の健全育成のための各事業を継続して実施します。 ○相談窓口での相談を専門機関へつなぐとともに,生活福祉資金貸付制度の活用による学資金の貸付を継続して実施します。

団	体	名	平成25年度子育て支援事業実施状況
			青少年育成愛護委員(以下「愛護委員」という。)は、芦屋市教育委員会から 委嘱を受けて、愛護活動を実施しています。愛護委員会の構成員は、愛護委 員を経験したOBで組織している愛護協会員と、他に市内小・中学校長から推 薦を受けた保護者の皆さんで組織しています。小学校区ごとに班を編成して 愛護活動を行っています。
			□芦屋市青少年育成愛護委員会 総会及び委嘱式 ※平成25年5月31日実施 196名に委嘱 □街頭巡回
			地域の子ども達の様子を見守るとともに、子ども達のためのよりよい環境整備、浄化に努めた。
			〇朝のあいさつ運動, 登校見守り, 下校見守り, 昼のパトロール(通学路や 公園などの点検), 夜のパトロール, 夏祭りなどの特別パトロールなどを 実施
	芦屋市青		※平成25年度実績として492回, 延べ2, 692名の活動がありました。 〇三市(西宮・尼崎・芦屋)合同パトロールがあり, 芦屋市青少年育成愛護 委員として12名の愛護委員が参加 ※平成25年11月26日(西宮市で実施)
	少		│ ○市内合同パトロールを実施 │ ※平成25年10月22日実施 53名参加
	年育成		□班集会 巡視活動の報告、自分達の子育ての悩みや経験を話し合ったり、愛護活動 全般についての意見交換を進めた。
	愛護委		小学校区ごと、精道・宮川・山手・岩園・朝日ケ丘・潮見・打出浜・浜風の8班に分かれて毎月1回開催。班集会で出た報告・意見等をもとに班長が役員会に出席して他の班との意見交流をしている。役員会の内容は、次の月の班集会で現長が報告
	員会		□役員会 各班の班長,会長,副会長,会計,監査,愛護センター職員が集まり,月1回 開催
			□研修会について 子ども達の現状や問題点をよく知るために、講演会、研修会、施設見学等を 実施
			研修会: 平成25年9月27日(「声かけの実際」) 講演会: 平成26年3月16日(「詩が開いた心の扉」)
			中学校区青少年健全育成推進会議と合同で開催) □関係機関との連携 兵庫県青少年補導委員連合会,阪神地区青少年補導委員連絡協議会で開催される会議,研修会に出席(各研修会に10~15名程度出席)

平成26年度における事業推進の目標

芦屋市の愛護活動は、「青少年と一体になって問題行動の克服を共に考え、 青少年の立場からその人権を守り育てて行く」ことを目的としています。 少しでも多くの地域の方の理解と協力が得られ、青少年がのびのびと育って いけることを願って活動を続けています。

・平成21年度に兵庫県青少年愛護条例が改正され、「青少年の範囲が6歳から18歳未満の者」から「18歳未満の者」に拡大されたことを受けて、6歳未満の子と保護者に芦屋の愛護活動の周知と浸透を当面の目標にしています。

団体名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
芦屋市保育推進保護者会協議	・定例会(7回) ・保育所職員との定例会(7回) ・兵保連定例会,合研(神奈川)への参加 ・子ども・子育て支援新制度検討委員会へ参加 ・保護者の意見をまとめ行政に要望 (こども課との懇談会 1月) ・署名活動(9~10月) ・"ほすい"を知ってもらうため,活動報告誌の作成(3回) ・総会 平成26年4月19日	 ・昨年度と同様 今年度は合研への参加はしない予定 学保連との合同説明会(予定) ・来年度からの保育新制度について保護者の意見をまとめたり、保護者に知らせるなど ・"ほすい"を維持し、次年度に引き継ぐことが目標
芦屋地区更生保護女性会	・芦屋市立幼稚園においてお茶会をしました。 1学期:7園, 2学期:7園, 3学期:2園の参加がありました。 ・園児達が大変喜んで参加してくれました。 ・お茶会を通して, 道具や命の大切さ, 礼儀作法の指導をしました。	・昨年度同様、芦屋市立幼稚園においてお茶会をする予定です。 ・園児達が参加しながら道具の大切さ、命の大切さと礼儀作法の指導をしたい。
芦屋ツインズ	9月11日 ラッキーの会 11月13日 えぷろんさんに人形劇をお願いし,各回とも合計20名ぐらいが 集まった。	①今年は、子育て支援事業団体への給付金がついになくなってしまったため、ボランティアで子どもたちのためにイベントをしてくれるところを探し中。現在、兵庫県立こどもの館に「動く・こどもの館号」の派遣を依頼中。スケジュール希望が通れば秋に実施したいと考えている。②初の試みで、他のグループさん(ベビ☆パラさん)と交流会を5月に行った。いつも双子ばかりなので他のお子さん、お母さんとも友達になれ、育児における新しい情報収集の場となりよかった。定期的に交流会を続けていけたらと考えている。

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
明日の家族を考える会	①WNWのびやかスペース「カルガモクラブ」 対象: 0歳~よちよち歩きまでの親子 場所: 打出集会所 日時: 第1, 第3木曜日(10時~11時30分) 開催回数: 11回(4月~9月まで) 参加人数: 親子延べ16組(子ども延べ21名) ②WNWのびやかスペース「カルガモクラブ2」 対象: 0歳~3歳の親子 場所: 前田集会所 日時: 第1火曜日(10時~11時30分) 2014年1月より第3木曜日(13時~17時)を加えて月2回開催 開催回数: 12回(7月~2014年3月) 参加人数: 親子延べ55組(子ども延べ57名) ③WNWのびやかスペース「パンビグループ」 対象: 1歳~3歳までの親子 場所: 打出集会所 日時: 第2, 第4火曜日(10時~11時30分) 開催回数: 23回 参加人数: 親子延べ52組(子ども延べ78名) ④県民交流広場事業「まちの寺子屋」 対象: 幼稚園児、小学校低学年児童 場所: 前田集会所 日時: 第1土曜日(10時~12時) 開催回数: 15回 参加人数: 延べ39名	①WNWのびやかスペース「カルガモクラブ2」 前田集会所で運営継続 ②WNWのびやかスペース「バンビグループ」 打出集会所で運営継続 ③まちの寺子屋 前田集会所で運営継続 ④のびやかスペース「あーち」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 ヒューマンコミュニティ創成研究センターにて障害児親子の支援 ⑤子育て世代対象の講演会、出前講座の開催
アンパンマングループ	・兵庫県「まちの子育てひろば」の『動く・こどもの館号』によるいろいろ体験 (親子体操や人形劇など)を実施し、親子合わせて約35名の参加があった。・アスロンの先生による体操教室を実施し、約40名の参加があった。 <10月> ・運動会を企画し、段ボールキャタピラや手作りフープを使ったジャンプ競走などを行った。 ・ハロウィンパーティーを企画し、約40名の参加があった。 <11月> ・リトミックの先生を招いて、親子リトミックを行い、約30名の参加があった。・兵庫県「まちの子育てひろば」のひろばアドバイザーによるキッズカンフーを実施し、約40名の参加があった。 <12月> ・クリスマスパーティーを企画し、簡単なクリスマスの仮装をしてダンスやプレゼント交換を行った。 <2月> ・消防署(高浜分署)の見学を実施し、約20名の参加があった。 <3月> ・お別れ会を企画し、参加者に手作りの賞状を渡した。	

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
「絵本で子育て」 NPO法人	・第10期「絵本講師・養成講座」を開講(年6回) ・子育て情報誌「絵本フォーラム」発行(年6回) ・芦屋市男女共同参画センター市民企画講座 ・高齢者総合福祉施設「愛しや」での読み聞かせ ・宝塚市市民企画講座 ・宝塚市市民フェスティバルに参加 ・尼崎女性フェスティバルに参加 ・西宮市児童館・西宮市マザークラスにて講座	・第11期「絵本講師・養成講座」を開講(年6回) ・子育で情報誌「絵本フォーラム」の発行(年6回) ・芦屋市保健福祉センターにて小出裕章氏の講演(6月8日) ・芦屋市男女共同参画センター市民企画講座 ・高齢者総合福祉施設「愛しや」での読み聞かせ ・阪神間での子育て支援活動(芦屋市・宝塚市・西宮市・尼崎市・神戸市)
NPO法人さんぴぃす	1)小・中学生を対象とした体験型環境学習の実施 5月~3月まで平均月1回ペースで芦屋市内の自然を活用した体験型環境 学習を実施 年間登録者101名 保護者を含めると300名以上の親子に 参加して頂きました。 2)子育て支援情報誌「ちょこっと」の発行と携帯への情報発信 隔月(偶数月)で、芦屋市内の子育て支援情報をまとめた無料の情報紙を 2,500部発行し、市内の幼稚園・保育所や行政施設、協力店等に無料 配布。 幼稚園・保育所等への配布はこども課にもご協力頂いています。 3)ひょうご子育てハンドブックの作成 母子手帳と一緒に持ち歩ける兵庫県下の子育て支援情報をまとめたハンド ブックを兵庫ボランタリー基金の助成金を活用して作成。 3,500部を印刷し、芦屋市内や兵庫県下で希望する団体や個人に配布を しました。芦屋市役所内(こども課のカウンター等)にも置いてもらっています。	1)の小・中学生を対象とした環境学習の実施と、2)の子育て支援情報誌「ちょこっと」の発行は、昨年同様、同規模で今年度も実施予定。上記に加え、今年度は、参加対象者を幼児からに拡大した野外活動事業をいくつか実施予定。 具体的には、青少年本部の「子ども若者応援」事業や「冒険ひろば」事業として芦屋市としては初めての取組みである「冒険ひろば」の開催や、宿泊を伴う子ども達だけのキャンプの実施と、並行してこれらの事業をスタッフとして支える大学生以上のキャンプリーダーの育成も行い、子ども達が参加出来る活動の幅を広げるための基盤作りも行う予定である。
子育てサー クル	・11月に各グループに助成されていた15,000円を使い、アスロンさんに来ていただき、なわとび、マット等体を動かして楽しんだ。20名程(親子)の参加があった。 ・潮見幼稚園内での活動の為、年間を通して月一回の園児とのあそぼう会、七夕、運動会、クリスマス等のイベント時にはお誘いいただき、一緒に楽しませていただいた。	 ・助成がなくなった為、兵庫県阪神南県民センターの「まちの子育てひろば」を利用する予定。他にも、県立こどもの館の「動く・こどもの館号」も依頼する予定。日程があえば、「ひょうごあそびの伝承師」「ひょうご絵本の伝承師」も依頼する。 ・今年度はさらに園児との交流を深める為、必ずあそぼう会に参加している。プーさんでの参加人数が増えない為、ボランティアで支援をしていただける事業を模索している。参加者を増やすことでママ、子の友達づくり、幼稚園への興味を高めて欲しい。・プーさんサークルの存在を知らない方も多く、口コミだけでなく、他の手段で広める必要がある。イベント時等の告知方法を考える。

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
さるっこグループ	・季節のイベントごとに工作などを行い親子で季節行事を楽しみました。 (こいのぼり、母の日、父の日、七夕、運動会、クリスマス等) ・出前講座を利用し、体操や人形劇、コンサートなどを開催しました。 ・消防署見学や遠足、公園遊びなど親子で外出をしました。 毎週金曜日 10:15~11:30(春、夏、冬休み除く) 10~20組程度の親子が参加	 昨年度同様、工作や手遊びなどを通じて季節のイベントを楽しむ。 出前講座を利用し、人形劇、体操を行う。 活動場所として利用させていただいているエルホームや幼稚園の方々と交流をはかり、親以外の人との触れ合いができる機会を作る。
浜風の家社会福祉法人	4月 3日 チャイ&パコラの日 30名 5月 7日 母の日メッセージカード 18名 6月10日 父の日メッセージカード 26名 6月15日 バザー 162名 7月 1日~ プール開放 328名 7月26日 英語による人形劇 64名 8月 1日~ プール開放 76名 8月 6日 ふれあいコンサート 55名 10月31日 ハロウィン 10名 11月 9日 バザー 12月21日 コンサート&英語防災カルタ 47名 1月17日 震災メモリアル 146名 1月18日 チャリティコンサート 61名 2月 3日~7日 節分豆まき 延べ46名 3月 3日 雛祭り&お茶席	5月 母の日メッセージカード 6月 父の日メッセージカード 7月 バザー 7月~8月 プール開放 8月 ふれあいコンサート 10月 ハロウィン 11月 バザー 1月17日 震災メモリアル 2月 節分豆まき 3月 雛祭り&お茶席
白菊会	・ふれあいボウリング大会 平成25年8月18日 六甲ボウル 大人12名,子ども10名 ・野外活動(バスツアー) 平成25年10月27日 都ホテルニューアルカイック バイキング 大人23名,子ども10名 ・年末のつどい(料理教室) 平成25年12月15日 福祉センター 大人19名,子ども9名	 ふれあいボウリング大会 平成26年8月24日 六甲ボウル ・野外活動(バスツアー) 平成26年10月26日 都ホテルニューアルカイック ケーキづくりとバイキング ・年末のつどい(料理教室) 平成26年12月14日 福祉センター

 ・毎月、第一金曜日午後1:30~4:00 市民センターで例会・・依頼されている託児の打ち合わせ・・生権・協力イントの準備 ・「子どもお楽しみ会」「芦っ子」主催
 ・平成26年 子 → 3月15日(土)託児「芦っ子」30周年記念お楽しみ会 おかげさまで30周年を迎えることができました。

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
ちきゅうっ子応援隊	 ○子育でに積極的に関わる父親「イクメン」や母親・家族の子育でを応援する目的で、「平成25年度芦屋市男女共同参画センター市民企画講座」に応募、事業を展開しました。 事業名:『今日からイクメン』―お父さん・お母さん・家族ー緒に遊ぼう―内容:お父さん・お母さんと一緒に作ってみたり、それで遊んでみたり、家に持ち帰って試してみたりと、簡単にプログラムを体験していただく。 ①「自然物のオブジェ」 ②「自然物を使った遊び」 ③「自然の表情再発見!」 ④「芦屋川のヨシを使った遊び」開催実施日:9月28日、10月26日、12月14日、1月25日の計4回開催場所:芦屋市男女共同参画センター内 	 ○子育てに積極的に関わる父親「イクメン」や母親・家族の子育でを応援する目的で、「平成26年度芦屋市男女共同参画センター市民企画講座」に応募、事業を展開する予定です。 事業名:『今日からイクメン』―お父さん・お母さん・家族一緒に遊ぼう―内容:お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に作ってみたり、それで遊んでみたり、家に持ち帰って試してみたりと、簡単にプログラムを体験していただく。 ①「自然物を使った遊び」 ②「自然物のオブジェ」 ③「自然物の表情再発見!」 ④「今日からイクジイ・イクバアお正月」 ⑤「芦屋川のヨシを使った遊び」開催予定日:9月6日、10月25日、12月6日、12月27日、1月24日の計5回開催場所:芦屋市男女共同参画センター内
芦屋市障がい児・者特定非営利活動法人	当法人は、芦屋市から委託を受けて平成19年度より『芦屋市立みどり地域生活支援センター』を運営しています。 毎年8月に当センター利用者の社会参加の一環として"地域住民との交流"を目的に"盆踊り大会"を開催しており、本年で6回目を数えます。特に、近隣の子どもさんに沢山来ていただけるよう趣向を凝らした手作りゲームのブースを設置し、景品としておもちゃ等をお渡ししており、毎回好評を博していると自負しております。 本来の趣旨は、一般の方々への"障がいに対する理解と啓蒙"ですが、年に一度の本イベントを通して、子どもさん達が障がいのある方と触れ合うことで"障がい"について"健全な理解"を持っていただけることへの一助になればという願いを持ち続けて実施しております。	本年も8月28日に"第6回盆踊り大会"を予定しており、先駆けて、近隣小学校や保育所・幼稚園が夏休みに入る前にポスター掲示をお願いしました。

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標	
大甲分団 日本宇宙少年団	4月 2日 ダイハツ展示場見学 31名 5月 3日 灘中・灘高文化祭 47名 5月25日「宝塚自然の家」野外料理&水ロケット 21名 6月 1日 芦屋市民活動フェスタ 57名 6月 8日 さかなの学校地引網体験 14名 6月15日 浜風の家バザー 25名 7月 6日 水ロケット近畿地区予選会 49名 7月20日 精道小学校夏祭り 25名 7月21日 カヌーに挑戦 19名 7月30日 海技大学シュミレーター体験 17名 8月 3日 水ロケット近畿地区大会 86名 8月 4日 温水プールで宇宙遊泳体験 7名 10月 6日 太陽系の惑星体験 24名 10月27日「茶屋公園」秋祭り協賛 66名 11月30日 コズミックカフェ 19名 12月 7日 近畿地区連絡協議会 12名 1月14日 若田宇宙飛行士との交信 48名 1月19日「海王丸」海洋教室 20名 2月22日 彗星を作ろう 21名 3月21日 精道フェスティバル 67名	4月 明石海峡公園で遊ぼう 5月 芦屋市民活動フェスタ 7月 水ロケット近畿地区予選会 7月 精道小学校夏祭り 8月 六甲分団20周年記念水ロケット近畿地区大会と講演会 7月~8月 淡路島水ロケット製作・発射 8月 但馬空港水ロケット製作・発射 10月 天体観測 11月 コズミックカフェ 1月「海王丸」海洋教室 3月 精道フェスティバル	
パズルクラブ	月3回、パズルクラブの目標である「感謝できる人の育成」「考える力(生きる力)育で」のため、主に思考力や算数・図形の指導を2歳児から小学校4年生までの幼児・児童に行った。	・左記内容を昨年度同様に26年度も継続して実施する。 ・今年度より「子育て,孫育て」と題し,親世代,祖父母世代に対し,幼児, 児童が賢く育つ接し方,算数指導の学習会を月に一回行っている。 今後は,祖父母世代の方により多く参加していただけるよう努めていきたい。	
パンダグループ	 ・芦屋市立小槌幼稚園の「えほんのへや」及び園庭において、参加された母子が自由に遊ぶことのできる環境を準備・提供できた。週1回水曜日午前9時~11時(幼稚園が長期休暇の期間は、グループの活動も休止) ・小槌幼稚園の園長先生のご厚意のおかげで、グループ活動時間内に、園児とともに体操やかけっこ等の体遊びを体験できた日も時々あり、参加された子どもたちにお兄さんお姉さんと一緒の活動も提供できた。(園独自で、未就園児に園での体験をしてもらうイベントもなされていて、そのイベントと同じ日(水曜日)にパンダサークルも合うよう、園長先生が配慮してくださることもあった) ・月に一度、芦屋市こども課のスタッフの方に手遊び、紙しばい、エプロンシアター等の多彩な楽しみを子ども達に提供してもらえた。 	・新しく市内へ転居された母子や,はじめてグループへ参加された母子が スムーズに慣れて楽しく遊んでいただけるよう,ますます努めていきたい。 ・母親同士が自由に情報をやりとりできるよう,ほっとできる雰囲気作りを ますます努めていきたい。	

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
リー クラブ 芦 屋 ブ	・2回連続子育て応援ワークショップを7月15日, 16日に実施 ・3か月に1度「赤ちゃんファミリー」を実施 ☆赤ちゃんたちの成長を見つめることから, 人間ならみんな同じと感じられる 子育て自分育てを考えています。	・親子で参加できるワークショップの実施 6月22日,6月24日 ・講演会の実施 ・2か月に1度「赤ちゃんファミリー」の実施 様々な年代の子どもや親と一緒に、それぞれの赤ちゃんの成長を見つめながら、人間ならみんな同じと感じられる子育て自分育てを共に考えていきたいと思っています。
ベビ☆パラ	○子育てセンタープレイルーム等において、月2回程度、自由遊びや手遊びをし、親子で交流する場を設けた。 ○下記の通り、3回イベントを実施し、各回親子20組程度の参加があった。 ・クッキング(10月、自主活動グループ支援事業助成による) ・人形劇(11月、阪神南県民センターより、まちの子育てひろばアドバイザー の派遣) ・それゆけ☆忍者(1月、県立こどもの館より派遣)	○引き続き、月1回程度、親子で交流する場を設ける。 ○イベントについては、下記の2件を計画中である。 ・それゆけ☆忍者を恒例行事として、今年度も派遣要請する。 ・まちの子育てひろばアドバイザーを今年度も派遣要請するが、時期及び 内容は検討中。
保育グループにこにこ	・年間 83回 ・保育時間 190時間 ・保育した子ども数 302人 ・保育に参加したサポーター 154人 ・保育した場所 ・ウィザスあしや保育室、保健福祉センターサブプレイ室、浜風の家、市民センター 会議室、市民センター幼児室、ルナホール楽屋、保健福祉センター調理室隣保育 室、伊勢幼稚園、朝日ケ丘幼稚園、精道小学校和室 等 (市 地域福祉課、生涯学習課、人権推進課、経済課、教育委員会、ウィザスあしや、ファミリー・サポート・センター)	・一時保育のため、親と離れて泣く子が多いが、サポーターの勉強、話し合いで質を高めていきたい。・PRはほとんどしていないが、今後は公共の場にちらし等を置いてみたい。
民生児童委員協議会	・あいあいルーム(月5回) 〈打出教育文化センター・図書館・上宮川文化センター・朝日ケ丘集会所・三条集会所〉 ・3歳児健診未受診者訪問・・・こども課より連絡のあった家庭へ案内を持参する・主任児童委員連絡会(月1回開催) 〈会長・副会長・家庭児童相談員・こども課・教育委員会が集まり、支援について情報交換をしている> (児童委員活動) ・子育て応援団・・・気軽な挨拶からSOSのキャッチ(虐待の早期発見、早期対応)までを視野に入れて、地域にふさわしい活動をしている・関係機関との連絡調整・・・子どもに関わる関係機関とのパイプ作り・赤ちゃん応援ネット事業(赤ちゃん訪問) ・トライやるの事業所	・芦屋市南部(潮芦屋地区)での活動を検討中 ・3歳児健診未受診者訪問についての課題を検討中 ・子育て応援団の活動の一環として、赤ちゃん応援ネット事業(手作りスタイを持って赤ちゃん訪問)を拡大 また、子育て中の人達とフリートーキング等で交流 ・トライやるの事業所として中学生にスタイ作りから赤ちゃん訪問まで行い、さらに福祉について基本的なことを学ぶ機会へと拡大 ・主任児童委員連絡会・関係機関との連絡調整は更なる充実を図る

団 体 名	平成25年度子育て支援事業実施状況	平成26年度における事業推進の目標
もちかたクラブ	子ども達のおはしの持ち方が気になり、食育ブームもあり、「正しいお箸の持ち方」を個々に指導すると共に、保護者へのアドバイスを随時行っています。	より多くの方へ知っていただきたいと思い小冊子を作成、配布したいと思います。また、少人数(又は個々)にアドバイスできるイベントを組みたいと思っています。
ラッキーの会	8月 7日 夏休み公民館事業で手作りおもちゃを作って遊び、人形劇も親子で見てもらった(80組参加) 8月28日 夏休み校外児童会(市内中)の子ども達に、精道小学校に集まってもらって人形劇を公演 12月 4日 すくすく学級のクリスマス会に人形劇「大きなかぶ」他手あそびで参加 市内の幼稚園、保育所の依頼で人形劇公演 2月 1日 美術博物館で人形劇フェスタ芦屋開催 西宮の人形劇グループの協力を得て公演(80名参加) 3月26日 春休み人形劇(公民館事業) 市内の音楽グループ、ザ・ローズと共演(親子で70組参加)	・夏休み公民館事業依頼も受けているので、子ども達が楽しめる工作と季節の題材を入れて人形劇を考えて提供したい。 ・夏休み校外児童会にも1年生~3年生の子ども達が楽しめるものの提供を考えている。 ・すくすく学級も例年通り参加させてもらって、学級の先生と相談してテーマを決めていきたい。 ・人形劇フェスタ芦屋も美術博物館と相談し、開催時、内容など検討していきたい。 ・芦屋の民話を子ども達に伝えていくことをしていきたい。 (今年宮川小学校の3年生の子ども達には影絵で伝えているが今後も計画)
りんごグループ	 ・毎週金曜日の午前10時~11時半に活動している。(夏季・冬季・春季休み中は除く) ・親子で工作、手遊び、絵本読み、公園遊びをしている。 ・季節の行事(節分、ひな祭り、ハロウィン、クリスマス)では、15~20組の親子が参加しました。 ・9月20日の消防署見学では、20組が参加し、実際に消防車に乗って写真撮影ができました。(芦屋市消防局が協力) ・10月18日の親子体操では、19組が参加し、親子で体を動かして遊びました。(体操、リズム遊び)(兵庫県 まちの子育てひろばが協力) ・11月8日の「それゆけ☆忍者」では、17組の親子が参加し、忍者になって、様々な運動をしました。(兵庫県立こどもの館が協力) 	・消防署見学、親子体操、それゆけ☆忍者は26年度も実施する。 ・「井戸端会議」を初めて実施する。 子育てセンターの先生方に子ども達の相手をしていただき、親だけで日頃の 子育ての悩みや相談事を話し合い、交流を深めたい。